

宿泊税の活用状況について(令和6年度)

宿泊税について

福岡県では、福岡県全体の観光の魅力を高め、旅行者の皆様の満足度向上を図るため、宿泊税を導入しています。

この宿泊税を活用し、令和6年度は、第三次福岡県観光振興指針の考え方に沿って、
 1 受入環境の充実、2 観光資源の魅力向上、3 戦略的なプロモーション、4 観光振興の体制強化の取組を実施しましたので、ご報告します。

今後も、宿泊税を活用した効果的な事業の実施により、県全体の観光振興につなげてまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和6年度宿泊税の概要

○宿泊税収	1,873,814 千円
○宿泊税の賦課徴収に要した経費	131,526 千円
	(うち宿泊税充当額 108,827 千円)
○宿泊税を活用した事業費	2,361,460 千円
	(うち宿泊税充当額 2,106,859 千円)

※宿泊税収と充当額の差額は、福岡県宿泊税基金を取り崩して充当

(第三次福岡県観光振興指針の柱ごとの充当額)

(単位:千円)

指針の柱	事業費	うち宿泊税
1 受入環境の充実	199,278	186,310
2 観光資源の魅力向上	331,304	315,474
3 戦略的なプロモーション	1,101,785	998,953
4 観光振興の体制強化	729,093	606,122
(うち市町村への財政的支援)	(470,342)	(470,342)
合計	2,361,460	2,106,859

※各指針の柱ごとの主な実施内容については、次ページ以降に記載しています。

1 受入環境の充実

外国人旅行者のニーズ等の分析を目的とした多言語翻訳機の設置やユニバーサルツーリズムへの理解促進のためのセミナー開催、宿泊事業者の生産性向上を目的とした専門アドバイザーの派遣や設備導入に対する助成などを行いました。

○ AIを活用した外国人旅行者の旅行動向の分析



旅行者のニーズやトレンドを分析するため、観光案内所に多言語翻訳機と会話集音マイクを設置



県内市町村や観光案内所等に対し、外国人旅行者のデータ分析結果を報告

○ ユニバーサルツーリズムの推進



事業者に対しユニバーサルデザインタクシーの車両購入費を補助



ユニバーサルツーリズムの推進の意義などについて理解を深めるためのセミナーを開催

○ 宿泊業における生産性向上の取組を支援



大浴場のリニューアルによる集客力向上



ロボット掃除機導入による省力化

2 観光資源の魅力向上

県内周遊を促進するため、観光テーマに基づく新たな体験プログラムの造成や、国内外からのサイクリストの誘客を目的とした、サイクルツーリズムの推進の取組などを行いました。

○ 新たな観光地域づくりの推進



久留米緋の織元でハンカチの藍染体験
(八女・筑後・広川エリア)



地元の蔵人に学ぶ日本酒の飲み比べ体験
(飯塚・嘉麻・桂川エリア)



修験道が栄えた求菩提山での史跡歩きと
森林浴体験(京築エリア)



小石原焼の特徴である「飛び匏」体験
(日田彦山線BRTひこぼしライン沿線エリア)

○ サイクルツーリズムの推進



豪州、韓国からのサイクリスト誘客に向け
現地旅行会社を招聘したモニターツアーを実施



サポートカーの手配

サイクリングガイド
の手配



旅行会社等のサイクリングツアー造成をサポートする
「FUKUOKA サイクリングコンシェルジュ」を開設

3 戦略的なプロモーション

福岡・大分デスティネーションキャンペーンを実施し、観光PR商談会の開催や、県内を手軽に周遊できる「よかバス」を開始しました。また、インバウンド誘客を目的として、英国・ロンドンで本県の食・観光をPRするセミナー・交流会の開催などを行いました。

○ 福岡・大分デスティネーションキャンペーンの実施(令和6年4～6月)



両県40ブースが出展し、全国の旅行会社に対して、試食や体験等で旅行商品造成を促す観光PR商談会を開催



観光客向け「公式ガイドブック」や旅行会社向け「観光素材集」を制作



県内周遊を促進するためバス旅行商品「よかバス」を開始



特設サイトにおける情報発信や企業とのタイアップ企画によるプロモーションを実施

○ 国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施



英国・ロンドンで、現地の旅行会社やメディアを集めた観光セミナー・交流会を開催



台湾、香港、韓国のインフルエンサーを活用し、県内広域観光エリアの情報を発信

4 観光振興の体制強化

宿泊業の雇用促進を目的とした合同会社説明会の開催や、専門分野アドバイザーを派遣したDMOの新規事業の創出支援のほか、飲食店等を対象とした食の多様性対応セミナーやメニュー開発支援を実施しました。また、市町村が地域の現状と課題を踏まえ、創意工夫を凝らした観光振興施策が実施できるよう、宿泊税交付金を交付しました。

○ 観光業の雇用促進



宿泊業への雇用を促進するため、
宿泊業に特化した合同会社説明会を開催

○ DMOの取組支援



登録DMOの新規事業の創出を支援
(嘉麻市観光まちづくり協会「森のハンモック」)

○ 食の多様性対応の推進



飲食店や宿泊施設等を対象に、食の多様性を
普及・啓発する試食体験セミナーを開催



食の多様性対応メニューの開発
(ヴィーガン対応の豚骨風ラーメンセット)

○ 宿泊税交付金を活用した市町村の観光振興施策の例



太原のイチョウ観覧に伴う交通渋滞を緩和
するため、無料シャトルバスを運行 (広川町)



香港で、現地旅行会社などを集めた
「酒・フルーツツーリズム」のPRイベントを開催
(久留米市)